



令和6年5月1日

白石市議会

目 次

1. 開催状況	P 1
2. 意見交換会（ワークショップ）のまとめ		
(1) 総務産業建設常任委員会		
(1 班) 防災・減災について	P 2
(2 班) 公共交通機関について	P 3
(2) 厚生文教常任委員会		
(1 班) 子育て支援について	P 4
(2 班) 健康・福祉について	P 6
3. アンケート結果	P 8
4. 参考資料		
意見交換会開催のお知らせ		

☆開催状況

開催日	会場	開催時間	参加人数		
			男性	女性	計
令和6年 3月17日(日)	白石市中央公民館 ホール	午前10時00分～ 午前11時30分	22人	6人	28人
		午後2時00分～ 午後3時30分	8人	5人	13人

合計参加者数 41人

☆常任委員会名簿

総務産業建設常任委員会

委員長 大森 貴之
副委員長 四竈 英夫
委員 伊藤 勝美
 澁谷 政義
 小川 正人
 角張 大治
 大内 卓也
 松野 久郎

厚生文教常任委員会

委員長 角張 一郎
副委員長 佐久間 儀郎
委員 佐藤 龍彦
 高子 秀明
 沼倉 啓介
 佐久間 順子
 村上 由紀
 佐藤 秀行

～ 今後の取り組みについて ～

意見交換会の開催にあたり、参加者の皆さまからいただいたご意見は、各常任委員会などにおいて、行政効果や実現の可能性などを調査・検討し、市に対して政策提言や要望の必要があると判断したものについては、その実現に努めます。

また、各議員は、いただいたご意見などを参考とし、自己能力を高め、議会における議案質疑や一般質問などの場において、市政課題の解決に努めます。

市民と議会の意見交換会報告書

令和6年3月17日

白石市議会議長 松野 久郎 殿

報告者 総務産業建設常任委員会（1班）

（班 長） 大 森 貴 之

日 時	令和6年3月17日（日） 10時00分 ～ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	(班長) 大森 貴之	(進行) 澁谷 政義	(発表) 伊藤 勝美
	(記録) 角張 大治		
参加人数	16人（男 15人：女 1人）		
意見交換	<p>【テーマ】 防災・減災について</p> <p>【参加者からのご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校統廃合後の避難所はどうなるのか。・空き家を避難所として利用するような取り組みはできないのか。・高齢者が増えているため、防災訓練のやり方を見直すべきではないか。 （車椅子の方等の避難訓練時の介助方法の習得）・そもそも避難所自体の安全性は担保されているのか。・耕作していない田んぼを遊水池にしてはどうか。・河川や水路の堆積物を除去してほしい。・水、食料、石油等の備蓄を更に充実させてほしい。・河川管理に関して、県と国との連携を更に密にしてほしい。 （市管理河川において浚渫工事が行われても、合流河口付近の本流河川水位が高ければ市管理河川の水が排水されず、さらには遡上し内水氾濫につながる）・災害発生時、避難活動における自治会長の権限を条例で定めてほしい。		

市民と議会の意見交換会報告書

令和6年3月26日

白石市議会議長 松野 久郎 殿

報告者 総務産業建設常任委員会（2班）

（班 長） 四 竈 英 夫

日 時	令和6年3月17日（日） 10時00分 ～ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	（班長） 四竈 英夫	（進行） 小川 正人	（発表） 松野 久郎
	（記録） 大内 卓也		
参加人数	6 人 （男 5 人 : 女 1 人 ）		
意見交換	<p>【テーマ】公共交通機関について</p> <p>【参加者からのご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 現有のタクシーを利用するにも、「バスなどに比べると金額が高く、病院へ薬を受け取りに行くだけで数千円かかるので、通院頻度を減らさざるを得ない」「台数が少なく、頼んでからタクシー到着まで時間を要する」などの声上がり、タクシーの代わりに隣人へ送迎を依頼するのも事故等が発生した場合などを鑑みると頼みづらいとの事であった。タクシーは年々縮小化されている傾向だが、市民としては無くては困るため、存続できる対策が必要である。・ 市民バス「きゃっするくん」に関しては、「自宅から停留所までが遠く、停留所まで行く手段がない」「ちょうどよい時間帯での運行がない（朝・夕方のみ）」「郡部は本数が少なく、利用も学生が通学に利用する目的がほとんどで、一般の市民は利用しない」との声が上がった。また「雨風をしのげる停留所の設置」「セラビ白石以外のスーパーにも発着所がほしい」「旭町にもバスを通してほしい」という変更を求める声もあった。・ 「地域ボランティア送迎」においては、もし事故が起こった場合の保険以外のケア（主に運転手の精神面）、運転手も高齢になってしまうなどの課題が出た。結論は、現在運行をしているタクシー会社に乗合タクシーの運営を委託することが本市に最もフィットし、全ての課題を解決する可能性があるという内容となった。		

市民と議会の意見交換会報告書

令和6年3月23日

白石市議会議長 松野 久郎 殿

報告者 厚生文教常任委員会（1班）

（班 長） 佐久間 儀 郎

日 時	令和6年3月17日（日） 10時00分 ～ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	（班長） 佐久間 儀郎	（進行） 佐藤 秀行	（発表） 高子 秀明
	（記録） 佐久間 順子		
参加人数	8 人 （男 4 人 : 女 4 人）		
意見交換	<p>【テーマ】子育て支援について</p> <p>【参加者からのご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な問題を抱えた児童・生徒が少なくない。小学3・4年生から不登校生が増加し、教員の負担は増すばかりである。他方、支援員も減員している。実情把握のため、議会の学校参観を求めたい。 <ul style="list-style-type: none"> ① 市独自の教員配置を配慮する必要、また支援員を増やすべきである。 ② 現状白石中学校区だけの特別支援学級を、福岡中学校及び東中学校にも配置すべきである。 ・ 学校給食費無償化については、市当局が義務教育の一貫として国で手当するよう要望活動に鋭意努めているとのことだが、子育て支援策として他自治体との格差が大きく、子育て世代の期待が根強い。当面、全額とは言わないが、一部助成を考えてもらいたい。そして、若いお母さん方の声にしっかり耳を傾けてもらい、本市も給食費無償化を早期実現すべきである。 ・ 来年度から子ども医療費の無償化を18歳までに拡張すべく準備に入ったと知ったが、県内での未実施は仙台市と白石市だけになった子育て支援策であり、出遅れ感は否めない。少しでも前倒しを求めたい。 ・ 東大畑の子育て応援住宅の家賃にもう少し割安感が欲しい。例えば緑が丘住宅の家賃並みにするなど、若い子育て世帯のため工夫できないか。 		

意見交換	<ul style="list-style-type: none">レジャー施設が足りないし、子どもたちが安心して遊べる運動公園が少ない。子育て世代のコミュニケーションの場ともなるのだから、市施設の“跡地”の有効活用を考えてほしい。
------	--

市民と議会の意見交換会報告書

令和6年3月29日

白石市議会議長 松野 久郎 殿

報告者 厚生文教常任委員会（2班）

（班 長） 角 張 一 郎

日 時	令和6年3月17日（日） 10時00分 ～ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	（班長）角張 一郎	（進行）村上 由紀	（発表）沼倉 啓介
	（記録）佐藤 龍彦		
参加人数	11人（男6人：女5人）		
意見交換	<p>【テーマ】健康・福祉について</p> <p>【参加者からのご意見等】</p> <p>「健康」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとって、「遊び」は大切である。「遊ぶ」ことによって「楽しい」と思う気持ちが芽生え、それが、「健康」につながる。歌うことは楽しいし、とても刺激も受ける。しかし、白石には「カラオケ」ができる場所がないので、「カラオケ」ができる場がほしい。 ・地区の集会所等で、百歳体操や脳トレ麻雀など、自治会と協力しながら行っているところもある。行政には足りない部分を応援してほしい。 ・健康づくりを推進するためには、キッカケづくりが大事であると思う。どこでカラオケや運動ができますとか、何人が集まって成功していますとかの成功体験を発信するのも「キッカケづくり」につながるのではないかな。 ・健康づくりを推進するためには、「キッカケづくり」をどのように創出していくのかということ、今後検討していく必要がある。 ・仙南地域広域行政事務組合で、国の支援を受け、健康延伸対策を行うと聞いている。白石市としてもそれに合わせて新たな事業等を検討してほしい。 ・みやぎ県南中核病院の救急が赤字であることについて、白石市民の救急 		

意見交換	<p>搬送先の半数を受け入れていることなどから、白石市もお金を負担してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みやぎ県南中核病院に、通院のための送迎バスを出してほしい。 <p>「福祉」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知高齢者の見守り体制として、「QRコード事業」「SOSネットワーク事業」を実施しているが、その事業の成果、利用実態について、検証が必要ではないか。 ・高齢者福祉制度について、行政としてここ数年ただ漫然と継続しているなという感覚を持っている。白石市独自の新たな高齢福祉制度を検討してもらいたい。 ・「健康維持」「介護予防」のため、高齢者・障害者の外出の機会を増やすため、新たな移動手段の確保や市民バスを車椅子で移動できるように検討してほしい。 ・福祉活動を一般の人が知る機会を増やす「見える化」することにより、やる気のある方たちがグループを組んで、それぞれの活動を起こしていくことになれば、白石の福祉が良くなっていくのではないか。 ・団体と団体とをつなぐ、ネットワークが大事だと思う。それをまとめてくれるところがあればよい。
------	--

第7回 市民と議会の意見交換会アンケート結果

1. 参加者

開催日	会場	開催時間	参加者			アンケート	回収率
			男	女	合計		
令和6年 3月17日(日)	白石市中央公 民館 ホール	10:00~11:30	22人	6人	28人	33人	80%
		14:00~15:30	8人	5人	13人		
合計			30人	11人	41人		

2. 参加者へのアンケート結果(アンケート回答者33人、回収率80%)

問1. 性別について

男	22人
女	10人
未回答	1人

問2. 年齢及び職業について

◎年齢

20歳未満	0人	60歳代	12人
20歳代	0人	70歳代	16人
30歳代	0人	80歳以上	4人
40歳代	1人	未回答	0人
50歳代	0人		

◎職業

会社員	2人	無職	14人
自営業	2人	学生	0人
農林漁業	0人	その他	6人
主婦	5人	未回答	4人

問3. お住まいの地区について

白石地区(旧町内)	11人
越河地区	7人
斎川地区	1人
大平地区	3人
大鷹沢地区	1人
白川地区	2人
福岡地区	7人
小原地区	0人
その他	0人
未回答	1人

問4. 意見交換会を何で知りましたか。(複数回答あり)

市議会だより	12人
市のホームページ	2人
チラシ	9人
ポスター	0人
議員・知人の紹介	2人
その他	9人
未回答	0人

問5. 意見交換会の内容はいかがでしたか。

良かった	24人
悪かった	2人
どちらともいえない	2人
未回答	5人

問6. 意見交換会の開催日及び時間帯について(複数回答あり)

◎開催日

平日が良い	7人
土日祝日が良い	15人
いつでも良い	11人
その他	2人

◎時間帯

午前中が良い	13人
午後(日中)が良い	5人
午後(夜)が良い	2人
いつでも良い	10人
未回答	7人

問7. 今後の意見交換会について、また参加したいと思いますか。

思う	28人
思わない	1人
わからない	2人
未回答	2人

第7回 市民と議会の

意見交換会 を開催します

白石市議会は、市民の皆さまに開かれた議会を目指します。

皆さまに議会活動を広く知っていただき、同時に貴重なご意見をお聞かせいただくため、「市民と議会の意見交換会」を開催いたします。

当日は、各常任委員会ごとに、それぞれのテーマに沿ってグループに分かれ、ワークショップ形式によりご意見をいただきます。

皆さまのご参加をお待ちしています。

◎開催日時 令和 6年 3月17日(日)

①午前10時～午前11時30分 ②午後2時～午後3時30分

※受付開始はそれぞれ開始30分前からです。

※①・②とも同じ内容で行います。ご都合の良い時間でご参加ください。

◎会 場 白石市中央公民館 ホール

◎開催内容 市民との意見交換（ワークショップ）

※それぞれの委員会ごとにグループを設けます。自由に移動して懇談ができます。

総務産業建設常任委員会

テーマ：①防災・減災について

②公共交通機関について

[担当議員]

大森貴之(委員長)、四竈英夫(副委員長)、伊藤勝美、澁谷政義、
小川正人、角張大治、大内卓也、松野久郎

厚生文教常任委員会

テーマ：①子育て支援について

②健康・福祉について

[担当議員]

角張一郎(委員長)、佐久間儀郎(副委員長)、佐藤龍彦、高子秀明、
沼倉啓介、佐久間順子、村上由紀、佐藤秀行

◎参加方法 お申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

※当日参加できない方も、各テーマに対するご意見をお寄せいただくことができます。

(ご意見フォームはこちら) →



URL: <https://logoform.jp/f/oAe7q>

●主 催：白石市議会
●お問い合わせ：議会事務局 電話0224(22)1351